

サステナビリティ推進機構 設置の理念・目的

2026年に北海道大学は創基150年を迎えます。

その創基150年に向けて、北海道大学は、
「世界の課題解決に貢献する北海道大学へ」

と題した、大学の改革戦略、
「北海道大学近未来戦略150」を掲げています。

世界では、2015年から、
国連の「持続可能な開発目標
(Sustainable Development Goals, SDGs)」
の達成が求められています。

近未来戦略150にある
「世界の課題解決に貢献する北海道大学」は
まさに、SDGsに示されている多様な目標を
達成する志と調和しています。

北海道大学は
2021年8月にサステナビリティ推進機構を設置し、
持続可能な社会の構築に資する教育、研究、社会連携、
およびサステナブルキャンパスの一層の充実を
図って参ります。

■ 専用ウェブサイト

サステナビリティ推進機構のご紹介はコチラから

サステナビリティ推進機構 →
<https://www.sustainability.hokudai.ac.jp/>



北海道大学のSDGsに関する教育、研究はコチラから

北海道大学×SDGs →
<https://sdgs.hokudai.ac.jp/>



■ お問い合わせ

サステナブルキャンパスの構築に関すること

→サステナブルキャンパスマネジメント本部
電話：011-706-3660 FAX：011-706-4884
メール：osc@osc.hokudai.ac.jp

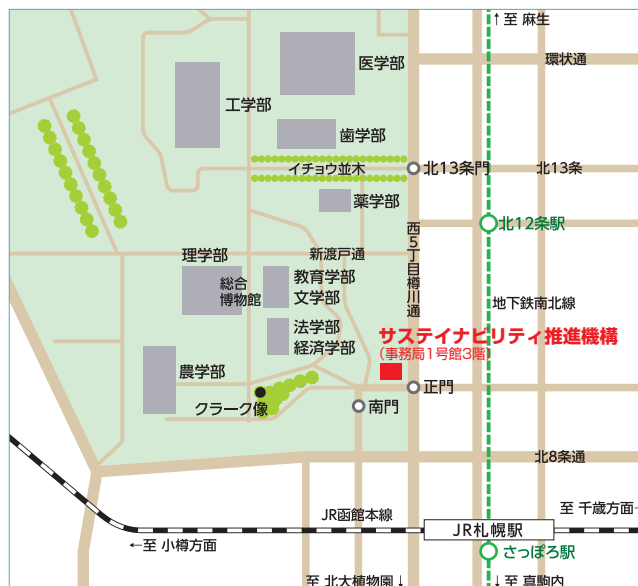
SDGsに関連する教育、研究、社会連携、広報に関すること

→SDGs事業推進本部
電話：011-706-4606 FAX：011-706-4884
メール：sdgs@sustainability.hokudai.ac.jp

■ 所在地

北海道大学 サステナビリティ推進機構

〒060-0808 北海道札幌市北区北8条西5丁目 事務局1号館3階



写真（表）：道北の幌加内町にある本学の雨龍研究林。展望台から朱鞠内湖を望む
写真（中）：市民の憩いの場ともなっている札幌キャンパスの中央ローン



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

北海道大学 サステナビリティ推進機構

INSTITUTE FOR THE ADVANCEMENT OF SUSTAINABILITY

機構のご案内

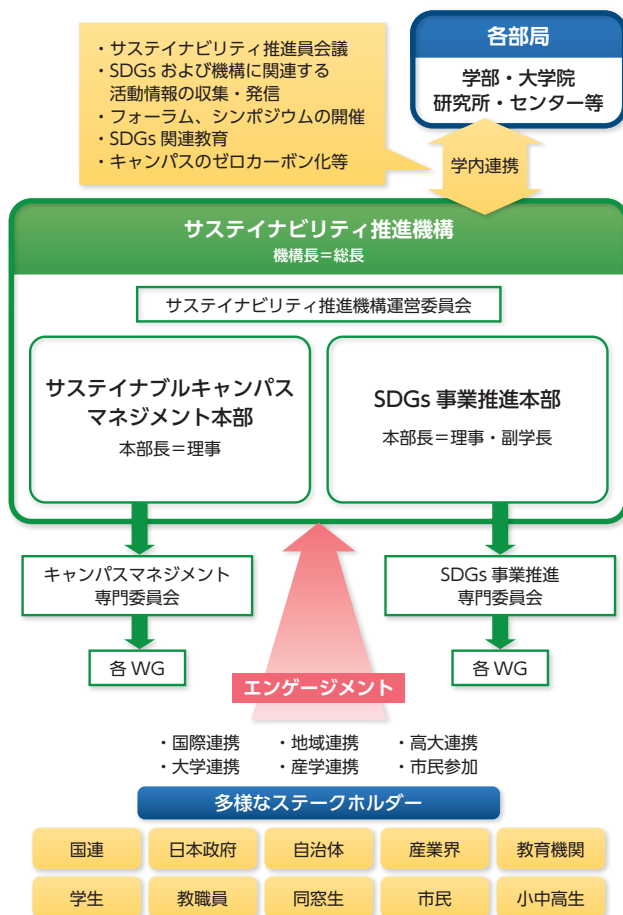


サステナビリティ推進機構

Institute for the Advancement of Sustainability

北海道大学サステナビリティ推進機構は、持続可能な社会の構築に資する教育、研究、社会連携、およびサステナブルキャンパス構築を推進するためのプラットフォームです。

SDGs に関連する教育、研究、社会連携、広報を推進する「SDGs 事業推進本部」とサステナブルキャンパス構築を推進する「サステナブルキャンパスマネジメント本部」の2つの本部を両輪として、グリーン・スマート・サステナブルキャンパスの実現を目指します。



「世界の課題解決に貢献する北海道大学」

を目指して歩みを進めてまいります

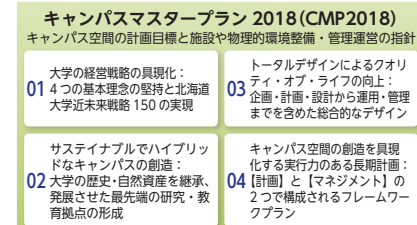
サステナブルキャンパス マネジメント本部

Sustainable Campus Management Office

本学のキャンパスに関する取り組みは、1996年に国内大学に先駆けて策定したキャンパスマスタープランにはじまります。2010年、サステナブルキャンパス構築に向けた中核的組織としてサステナブルキャンパス推進本部を設置しました。2018年の「サステナブルキャンパスマネジメント本部」(SCM本部)への改組を経て、2021年8月より、SCM本部は「サステナビリティ推進機構」の中に編制され、本学のサステナビリティ推進体制の一翼を担っています。

本学では、「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」「実学の重視」という基本理念の堅持と改革戦略「近未来戦略150」の実現を支え、教育、研究、社会連携、キャンパス整備を通して、持続可能な社会の構築に貢献するため、「キャンパスマスタープラン2018」「サステナブルキャンパス構築のためのアクションプラン」等の施策を策定しています。SCM本部では、これらのプランに基づきながら、キャンパス・施設・環境に係る施策の企画・立案等を行っています。

■ サステナブルキャンパス構築のための主な施策



SDGs 事業推進本部

SDGs Initiative Office

札幌農学校の設置の経緯、開学当時にクラーク博士が導入した教育理念、そして広大な研究林やキャンパスなどを擁するに至った本学の発展の歴史が、現在の北海道大学の4つの基本理念を醸成しました。これらの理念は「誰一人取り残さない」「ウェルビーイング (well-being)」などのSDGs (持続可能な開発目標) の考え方と強くつながるもので、本学は開学以来、教育と研究を通じてSDGsに取り組んできた大学とも言えます。

こうした歴史を踏まえ、2020年10月に発足した新執行部は、本学が「比類なき」大学としてSDGsの達成に十分貢献できる研究主導型の基幹総合大学であると認識し、「SDGsの達成への貢献」を本学のビジョンの中核に据え、その実現のために、「SDGs 事業推進本部」を設立しました。

SDGs 事業推進本部では、SDGsに関わる教育、研究、社会連携、広報など、様々な関連事業を一元的に集約しつつ、取り組みを推進することでSDGsの達成に貢献する社会変革の原動力を創出して参ります。

札幌農学校の設置の経緯、開学当時にクラーク博士が導入した教育理念、そして広大な研究林やキャンパスなどを擁するに至った本学の発展の歴史が、現在の北海道大学の4つの基本理念を醸成しました。

■ SDGs 事業推進本部の主な取り組み

